

## 橋梁補修補強工

### 橋梁用伸縮継手補修工法 SM ジョイント工法

山王株式会社

〒861-8043 熊本県熊本市戸島西5-5-57  
TEL(096)214-6850 FAX(096)214-6860

電子メール info@kumamoto-sanou.co.jp

ホームページ <http://www.kumamoto-sanou.co.jp/>

資料請求先 TEL(096)214-6850 FAX(096)214-6860



施工前



施工後

### 概要

古くなった伸縮装置、特に伸縮ゴム部分の劣化は、止水機能を失い支承部の発錆による破損や桁・床版のクラック発生の原因となる。

従来伸縮ゴムの劣化が発生した場合は、ジョイントの後打コンクリートが健全にもかかわらず、伸縮装置全体を取り換えるという手法が取られてきた。

「SM ジョイント」は後打ちコンクリートを撤去せず、劣化した伸縮ゴムのみを取り替える工法として開発されたものである。この工法を用いると、施工中躯体への振動・衝撃といった負担を最小限に抑え、施工時間の短縮による交通障害の低減、撤去に伴う産業廃棄物の削減も実現することができる。

### 特長

#### 1. 経済的な施工を実現

老朽化した伸縮ゴムのみを取り替えるので、装置全体の取り替え工事と比較すると費用を約65%削減できる。

#### 2. 施工性の向上

撤去、設置、養生時間は従来の3割で、工期の大幅な短縮が可能。

#### 3. 高性能な防水を実現

高粘弾性材料により、伸縮性、止水性、耐久性に優れている。

#### 4. 環境にやさしい

工事中に騒音、振動、産業廃棄物の排出を大幅に削減でき、CO<sub>2</sub>の発生を抑制する。

### 構成部材・適用箇所

- 構成部材：高粘弾性バインダー、専用骨材、バックロッド材、プライマー、D骨材（表層材）
- 適用箇所：コンクリート橋・鋼橋の突合せタイプの伸縮装置部分

実用新案登録 第3155525号

### 施工方法



①既設ジョイント  
シール材撤去



②清掃



③バックロッド材の設置  
遊間部にバックロッド材  
を設置する。



④プライマー塗布  
既設材との接着力を高める。



⑤特殊合材の充填  
伸縮性のある高粘弾性合  
材を充填する。



⑥補修部表面の保護  
専用のSMバインダーで  
防水機能を高める。



⑦表面仕上げ  
付着防止のため専用骨材  
を散布する。



⑧完成  
施工後30分前後で交通解  
放が可能。